

よどまち さーち
新北野編
助け合える町、新北野

まちさ〜ち

- ◆人口:5,999人 ※平成24年9月末時点の統計値
- ◆面積:約0.68km²
- ◆主な施設:淀川図書館、府立北野高等学校



▲備蓄倉庫から避難所へ物資を搬出



▲淀川消防署指導のもと煙中歩行体験



▲災害時用アルファ米と豚汁の炊き出し訓練

地域のシンボル、成小路神社

新北野地域は、淀川河川敷や公園などまちの自然・みどりがあり、北野高等学校・淀川改修碑・圓稱寺など文化資源が多い地域です。地域の中央部に位置する成小路神社は、地域でお金を出しあって造られ、大切に守られてきた新北野地域のシンボルです。

住民が集う地域の取り組み

地域住民が多く集まる行事として、成小路神社夏祭りと防災訓練があります。どちらも各町会に役割があるので協力し合える機会であり、地域住民が多く集まるので、お互いの顔が見える大切な行事です。

地域の連携を高める、第2回防災訓練

今年は、全11町会から昨年の2倍を超える250名程度が防災訓練に参加予定です。避難訓練の後、消防による体験訓練や、アルファ米や豚汁の炊き出し訓練も行います。11月23日(日)9:00から12:00に新北野中学校で開催します。

【新北野地域活動協議会】

事務所:新北野老人会館
 住所:淀川区新北野 2-10-23
 ☎6303-3939
 (平日10:00~16:00)



牛島淳勝会長から

災害が起きた時、避難所に逃げる事ができれば、地域の力(共助)やその後の公助で助けられます。ただ、避難所に逃げるまでは、各自がどうするかを判断し、行動する必要があります。そのためにも重要な避難訓練であり避難所開設訓練です。地域で助け合うことができるよう、住民が顔を合わせる機会や、日頃の付き合いを大切にする新北野地域でありたいと思っています。

スピード チャレンジ



それいけ、まさふみ!

淀川区長 **榎 正文**

子ども・子育て支援新制度について

平成27年度の保育所(園)、幼稚園の申込・願書提出が10月から始まります。保護者の皆さまにとっては、施設の所在地や開所(園)時間、負担額など気になるところだと思います。

大阪市では、7月31日に橋下市長から「子ども・子育て支援新制度」における利用者負担額(保育料)についての市長としての考え方が提起されました。問題が多いと考える保育料の設定について、これを機に公平性を確保するという方針です。

現在、保育所(園)の保育料は公立・私立に関わらず所得水準に合わせて利用者負担額が設定されていますが、幼稚園はそうになっていません。私立幼稚園の実質利用者負担額は市立幼稚園の約2倍になっています。そこで、新制度導入を機に、①税投入の公平性の観点から、公立か私立かで差

を設けるべきでない、②子育て支援の観点から、保育料は所得に応じて設定されるべき、との方針で具体的な保育料の市長案を提示。結果として、市立幼稚園の保育料は上がり、私立のそれは軽減されることとなります。それでも税投入の格差が大きいことは依然として残りますが、市全体として保育所(園)・幼稚園に投じる税金の総額はこれまでと変わらず確保した上で、限りある財源の中で納得感ある公平性が確保できると説明しています。

これらは素案であり、今後議会とも協議していくとのことです。詳しくは、市のHP【市長の部屋】→【私の主張】をご覧ください。

